

令和6年度 英国多文化コミュニティ政策交流プログラム 実施要領

1 目的

歴史的に数多くの移民を受け入れてきた英国では、多文化共生の思想に基づき、行政、地域、NPO等のそれぞれの立場から様々な施策を展開しているところである。これらの英国における多様な取組事例は、在留外国人数が近年急増する日本においても参考となるところが多いと考えられる。

そこで、グローバルに展開される人の流れにより生み出される活力とそれに伴う課題、英国での多文化共生政策に基づく地方行政・地域づくりの先進的な取り組みを学ぶプログラムを実施し、様々な施策が展開されている現場の視察や関係者との意見交換等を通じて、日本の自治体等における多文化共生施策の企画立案等に寄与することを目指す。

2 主催

一般財団法人自治体国際化協会（クレア）

3 期間

令和6年7月1日（月）から7月6日（土）までの6日間

4 場所

英国（ロンドンを拠点に、地方の自治体等へ日帰り訪問する可能性もあり）

5 内容

英国の多文化共生政策に関する講義を受講した上で、多文化コミュニティの形成について先進的な施策を実施している現地政府機関やNPO/NGO団体等を訪問し、英国における多文化共生に基づく取り組みに関する知識を深める。また、現地訪問で得た知見を基に、各参加者の所属する団体における多文化共生のまちづくりの企画立案や施策展開に生かすべく、参加者同士で意見交換を行う。

6 視察先例

※以下の視察先は想定です。視察先の都合等により、変更になる場合があります。

（1）自治体等の行政機関

- ・視察内容例
 - ①移民・難民の多様性に配慮した共生戦略の策定、施策展開の例
 - ②英語を母国語としない外国人への情報提供、多言語化の促進
 - ③移民・難民を取り巻く犯罪（ヘイトクライム）への対応 等
- ・視察先例 移民集住自治体（ロンドン内外） 等

《令和5年度視察先》

英国政府レベリングアップ・住宅・コミュニティ省
グレーターマンチェスター合同行政機構、イズリントン区
ウォルサムフォレスト区、マンチェスター市

(2) 支援団体 (NGO 等)

- ・ 視察内容例 ①異なる文化・宗教を持つ子どもたちの学校間交流の取組
②多文化共生施策を立案する自治体に向けた支援
③政府・自治体との連携 等
- ・ 視察先例 教育関連 NGO 団体、自治体向けコンサルティング団体 等
《令和5年度視察先》 The Faith and Belief Forum
Our Lady and St George's Catholic Primary and Nursery School

(3) 大学・研究機関等

- ・ 視察内容例 ①自治体による多文化共生施策・取組の優良事例の紹介
②多文化共生に向けた都市間ネットワークの形成・取組
③政府・自治体との連携 等
- ・ 視察先例 大学・自治体等と連携した移民関連研究機関
《令和5年度視察先》 Migration Work CIC

(4) 博物館等

- ・ 視察内容例 地域コミュニティに対する移民への理解促進に向けた取組 等
- ・ 視察先例 移民をテーマにした博物館 等
《令和5年度視察先》 移民博物館

7 対 象

- (1) 地方公共団体（都道府県及び市区町村）の職員
- (2) 地域国際化協会の職員
- (3) 地方公共団体又は地域国際化協会の推薦を受けたNPO等民間団体・国際機関の職員等、又は市区町村国際交流協会の職員

※通訳者が同行するため、英語の能力は問いません。

※(3)の場合、推薦書が必要となります。ただし、市区町村国際交流協会の職員については推薦書の提出は不要です。

8 募集人員

15人程度（最少催行人数5人）

9 過去の実施状況

下記をご参照ください。

令和5年度 報告書

現場レポート「初開催！英国多文化コミュニティ政策交流プログラム」

令和4年度 事前視察報告書

10 費用

研修参加費：無料

ただし、次表のとおり自己負担費用が伴います。

自己負担費用 (各自手配)	①	プログラム参加に伴う旅費（航空賃、英国内での移動に係る交通費等。なお、地方の自治体訪問に際しては、鉄道賃の実費をご負担いただきます ※100ポンド程度を想定。）
	②	プログラム参加に伴う宿泊費
	③	入国に必要な書類等の取得料
	④	空港使用料
	⑤	航空保険料
	⑥	食費

※地域国際化協会職員の参加に係る経費の助成について

- ・地域国際化協会からの参加者（個人での参加を除く。）については、地域国際化協会連絡協議会から、①の内の航空賃及び②～⑤の費用について、実際に要した費用の1/2以内の額（1円未満切り捨て）を助成します。ただし、①については日本の国際空港とヒースロー空港間の往復航空運賃（ただし、エコノミー料金）と航空券の手配に係る手数料等、②については原則として研修期間中の英国内の宿泊料金（原則、1夜につき19,300円を助成対象経費の上限として、その1/2以内の額）に限り、フライトの都合上、前後泊する場合は事前にご相談ください。
- ・①に関して、英国内での移動に係る交通費等は助成の対象外となります。ただし、ロンドン郊外の視察先への移動に係る交通費については助成対象とします。詳細は、後日対象となる参加者に改めてお知らせします。

11 申し込み方法

別紙「令和6年度 英国多文化コミュニティ政策交流プログラム参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記の申込先までE-mailにてお申込みください。なお、「7 対象」の(3)に該当する方については、推薦書もあわせてご提出ください（別添【参考様式】参照）

【申込先】(一財)自治体国際化協会 東京本部 多文化共生部多文化共生課

E-mail : tabunka@clair.or.jp

※ 申込期限：令和6年4月26日（金） 必 着

1 2 行 程（予定）

日 程	行 程
7月1日（月）午前 （9時30分集合）	オリエンテーション 参加者による自己紹介、英国の多文化共生政策の概要説明 等
7月1日（月）午後 ～ 7月5日（金） （9時00分集合）	各訪問先視察 視察先の例については、上記「6 視察先例」のとおり
7月6日（土）午前 （9時30分集合）	意見交換会 参加者によるプログラムの振り返り、意見交換 等

※7月1日（月）及び7月6日（土）は、9時30分までに集合してください。

※7月2日（火）～7月5日（金）は原則として9時集合、18時解散の予定です。

（訪問先の都合等により変更となる可能性があります。）

※集合・解散場所はロンドン事務所近辺となります。（詳細は追ってお知らせします。）

1 3 その他

- （1） 初日のオリエンテーションにて、参加者の方に自己紹介や関心テーマ、抱負等を発表していただきます。
- （2） 参加者の方には、プログラム中に学んだ内容を報告書にまとめていただく予定です。ので、ご注意ください。

1 4 問い合わせ先

- （1） 研修内容に関するお問い合わせ
（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所
E-mail : mailbox@jlgc.org.uk
- （2） 研修費用・申込に関するお問い合わせ
（一財）自治体国際化協会 東京本部 多文化共生部多文化共生課
E-mail : tabunka@clair.or.jp